

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	サイクルシティ堺企画運営事業				事業番号	019-089	
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車企画推進	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出	
			有	取組の方向性	⑤サイクルシティとしての魅力創出				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度				
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)			目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市自転車活用推進計画					
3	事業開始年度			平成 14 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			自転車活用推進法、堺市自転車のまちづくり推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会、堺 自転車のまちづくり・市民の会、民間企業等					
6	事業の対象	堺市民及び来堺者（不特定多数）				対象数	単位
						約81万	人
7	事業の目的	「堺市自転車のまちづくり推進条例」及び「堺市自転車活用推進計画」の趣旨に則り、市民・事業者・行政が連携して、安全に、安心して、かつ快適に自転車を利用できる環境を整えることで、都市魅力を向上させる。また、本市が有する類いまれな自転車の歴史文化を発信し、「サイクルシティ堺」のブランドを確立する。					
8	事業内容	○「サイクルシティ堺」としての魅力を創出するため、本市が誇る自転車の歴史文化の発信や自転車を活用した取組の実施 ○シモノ自転車博物館と連携した、本庁や各区役所、阪堺電車内での自転車の絵画作品展示や「サイクルシティ堺」の取組を発信 ○「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と連携した、自転車利用の促進や自転車交通ルールの周知・啓発の実施 ○さかい自転車リーダー養成講座の開催（自転車利用推進委員（自転車リーダー）の認定） ○シェアサイクル事業の実施 ○大和川リバーサイドサイクリン完成記念イベント開催による自転車の利用促進や交通安全啓発等の実施 ○大阪芸術大学との連携による「サイクルシティ堺」ロゴマークの制作					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	市民団体である「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と連携した散走や交通安全啓発の実施、シェアサイクル運営事業者との連携、シモノ自転車博物館や阪堺電気鉄道と連携した自転車の絵画作品の展示					
9	主な支出先	西尾レントオール（株）、総合調査設計（株）、（一財）自転車センター、（一社）市民自転車学校プロジェクト等					
10	公民連携・協働事業	堺 自転車のまちづくり・市民の会（ボランティア団体）と連携したさかい自転車デー等の実施 サカイサイクル（株）と連携協定に基づいたこども自転車教室の実施 大阪芸術大学と連携協定に基づいた「サイクルシティ堺」ロゴマークの制作 大和川リバーサイドサイクリン完成記念イベントにおいて、沿線自治体によるPRブース出展や自転車関連事業者による自転車利用促進イベントの実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	44	47	50	50
				実績値	45	42		
11	自転車利用環境の満足度	%	達成率	103%	89%			
	当該指標を選定した理由	堺市自転車活用推進計画にて「自転車を活用した都市魅力を感じられるサイクルシティ堺の実現をめざす」としているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	自転車走行環境の満足度の令和元年度実績が37.1%のため、令和3年度の目標値を40%とし、以降2%～3%ずつ上昇させることで目標値を設定。（市民意識調査より測定） 指標の変更理由：サイクルシティ堺企画運営事業の事業目的を踏まえ、自転車利用環境や都市魅力向上の成果指標として、より網羅的な指標であるため。						
	活動指標	単位		実績		目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	150	210		270
				実績値	165	239		
12	シェアサイクルポートの設置数	箇所	達成率	110%	114%			
	当該指標を選定した理由	シェアサイクルポートを拡充することは、快適に自転車を利用できる環境の提供につながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	シェアサイクル運営事業者が作成した「堺市シェアサイクル事業計画書」における目標値を踏まえ、本市における現在のポート設置状況から目標値を再設定。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	サイクルシティ堺企画運営事業	事業番号	019-089
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	6,872	9,198	8,386	8,149	2,273
	財 源					
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（ 堺市自転車環境共生まちづくり基金等 ）	3,350	4,845	3,101	2,779	1,751
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
14	一般財源	3,522	4,353	5,285	5,370	522
	人件費（b）	20,500	30,780	25,180	25,180	40,320
15	年間経費（c）=(a)+(b)	27,372	39,978	33,566	33,329	42,593

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	事業費内訳	委託料（サイクルイベント）		4,409	4,409	修繕料（T Sマーク更新）	R6	決算	36	36
		R7	予算	0	0		R7	予算	80	80
	さかい自転車デー及び散走等イベントの推進・自転車リーダー養成講座等	R6	決算	1,651	0	消耗品費、印刷製本費・通信運搬費等	R6	決算	611	611
		R7	予算	1,751	0		R7	予算	417	417
	自転車地図	R6	決算	829	0		R6	決算		
		R7	予算	0	0		R7	予算		
	その他使用料及び賃借料（会場借上料等）	R6	決算	314	314		R6	決算		
		R7	予算	25	25		R7	予算		
	負担金	R6	決算	299	0		R6	決算		
		R7	予算	0	0		R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	自転車を活用した体験イベント参加者数	人	409
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,766
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,763
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		2,778
算出についての説明等		サイクルイベント（こども向け自転車体験イベントやBMX体験イベント、大和川リバーサイドサイクルライン完成記念イベント等）の実施に係る運営委託料及び会場賃借料等を経費として計上。※令和5年度から実施		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	多様な方に自転車の楽しさや楽しむ"きっかけ"に触れる機会を創出することにより、自転車利用の促進を図るため、こども向け自転車体験イベントやBMX体験イベント、インクルーシブサイクリングを実施した。各自転車体験イベントでは一度に参加できる人数が限られているが、体験後の利用者アンケートの結果は全ての体験イベントにおいて満足度が100%となっており、自転車には様々な楽しみ方があるということをしっかりと伝えることができた。 また、令和7年3月には大和川リバーサイドサイクルライン完成記念式典及びイベントを実施し、沿線自治体や民間事業者等によるブース出展、各種自転車試乗体験会、ステージイベント等を行ったほか、大阪芸術大学と連携して制作した「サイクルシティ堺」のロゴマークを披露した。イベントには約1,500人が来場し、効果的・効果的に「サイクルシティ堺」の取組を発信することができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	シマノ自転車博物館と連携し、阪堺電車等で自転車に関する作品展示や大阪芸術大学と連携して制作した大和川サイクルモニュメントの発信等の取組を進めた。また、大和川リバーサイドサイクルライン完成記念イベントや自転車活用推進功績者表彰など「サイクルシティ堺」としての取組が新聞5大紙で8件、その他の報道紙でも20件掲載されるなど、様々なメディアに取り上げられた。 加えて、市ホームページやSNS、広報さかいの活用や、堺まつりやツアー・オブ・ジャパン堺ステージ、区民まつり等の各種イベントに合わせてブース出展を行い、「サイクルシティ堺」の取組を広く周知することができた。 シェアサイクル事業については、運営事業者と連携を図りながら、公園や観光施設、市営住宅等にもシェアサイクルポートを拡充し、市内周遊の促進や移動の利便性を向上させることで、KPIの達成に寄与した。 （シェアサイクルポート数 令和6年3月末時点 165か所／令和7年3月末時点 239か所 74か所増加） 今後も「堺市自転車活用推進計画」に基づき、多様な主体と連携し、「サイクルシティ堺」の推進に向け、本市の自転車の歴史文化の発信や自転車の利用を促進させる。
----	--